

6・15 国際連帯集会 決議

■ 解釈改憲を許すな！

安倍首相は5月15日に官邸で記者会見し、私的諮問機関である「安保法制懇」の報告を受ける形で、集団的自衛権の行使を容認する憲法解釈の変更を検討すると表明した。閣議決定による憲法解釈の変更を強行しようとしている。このような暴挙を絶対に許してはならない。

安倍右翼政権は戦争国家化へ向けて歴史的転換に踏み出そうとしている。アジア共同行動（AWC）日本連絡会議は、結成以来、アジア人民との具体的・実践的連帯を掲げた反戦・反基地を闘ってきた。こうした闘いの蓄積の上に、AWC・首都圏は日本の戦争国家化を許さない闘いに邁進していく。国際連帯を基軸とした反改憲を闘っていこう！

■ アジアから米軍総撤収を！

一方で米軍基地の強化—米軍再編と日米軍事一体化が強行されようとしている。

沖縄—辺野古における新基地建設策動は、本年1月の稲嶺名護市長の誕生によって後退を余儀なくされた。新基地建設反対派市長の当選は沖縄人民—名護市民の怒りの表現に他ならない。

しかし政府は基地の県内移設受け入れを表明した仲井眞知事の任期満了に併せるかのように、今年11月にでも辺野古新基地の本体工事に入ろうとしている。海上ボーリング調査が強行されようとしている。沖縄人民の意志を無視する新基地建設強行を許してはならない。

さらに岩国基地の拡大強化が強行されている。「本土」におけるオスプレイの展開拠点でもある岩国基地は、その機能において極東最大の海兵隊基地だ。この岩国に本年5月15日米軍住宅建設が着工された。そして7月には普天間からKC130米軍空中給油機 15機が段階的に移駐されようとしている。京都・京丹後では関西における初めての米軍基地—Xバンドレーダー基地の建設が5月27日に着工されている。厚木では自衛隊機の夜間飛行差し止め判決がでたが、米軍機による夜間飛行訓練はいまだに強行されている。

しかしながら沖縄—岩国—神奈川地域住民は自らの生活をかけて米軍基地に反対している。われわれは、これら米軍再編と闘う地域住民・アジア人民とともに、「ア

「アジアから米軍の総撤収」を掲げて米軍再編と闘っていこう！

■ 反原発一再稼働阻止！

安倍政権は川内（鹿児島）原発を今夏秋にでも再稼働させようとしている。川内を皮切りに現在停止している原発を本格的に再稼働させようとしているのだ。

福島第一原発事故は収束するどころか拡大しているのが現実であり、福島の人々は困難な生活を強いられている。こうした状況下における原発再稼働など絶対に許してはならない。6月14日には川内現地において大規模な再稼働反対の集会が闘われている。

われわれは2012年1月29日韓国・ソウルで行われた第15回AWC—CCB会議における「原発の撤廃を求める国際決議」に則り闘う。経産省前テントひろばを防衛し、より一層の大衆的高揚を目指して闘っていこう！

■ 差別排外主義と闘おう！

差別排外主義勢力が活発化している。街頭でヘイトスピーチをまき散らし、公然と差別排外主義扇動を展開している。一方で、政府は朝鮮学校を高校「無償化」制度から除外している。これは明らかに差別である。われわれは朝鮮学校「無償化」除外に対抗する裁判闘争を断固として支援する。

われわれは一切の差別主義・排外主義を許すことはできない。国際主義の旗を高々と掲げた反排外主義運動を闘っていこう！

■ 生活破壊を許すな！

安倍政権は日本の戦争国家化を進める一方で、労働者人民には生活破壊を強要している。消費税増税で生活が逼迫する一方で、「裁量労働制」なるものを導入し労働者人民に残業代ゼロの働き方を強要するなど、労働法制の全面的改悪に踏み込んでいる。しようとしている。労働者間の格差は拡大し、多くの人々の生活が破壊されんとしている。そして政府は多国籍企業のためのTPP協議なるものに絶望的にのめり込んでいる。

われわれはあらゆる新自由主義政策に反対する。新自由主義政策は労働者の生活を破壊し、生命すら奪っていく政策である。労働者の生活破壊と断固闘おう！

■ 本日、われわれは韓国から闘う労働者を招き交流と討論を実現した。そして改憲阻止、アジアからの米軍総撤収、反原発、反差別排外主義、労働者の生活破壊反対を確認した。AWC・首都圏は本集会に参加されたすべての皆さんとともに、これら闘いを国際主義の精神をもって推進していく。日韓労働者の団結をもって共に闘っていこう！

以上決議する。

6・15参加者一同